

職員アンケートの結果を反映して取り組んだ事業

1 概要

板橋区では、区職員のユニバーサルデザイン（以下、UD）に対する認知度等を把握し、区の UD 施策に反映させるため、平成 29 年度からユニバーサルデザインに関する職員アンケートを実施している。

については、令和元年度に実施したアンケートの結果を踏まえ、令和 2 年度および令和 3 年度に実施した事業について報告する。

2 アンケートの主な分析結果とその対応

(1) ユニバーサルデザインの認知度について

分析結果

認知度の低い福祉職（保育士）の認知度を向上させると、全体の認知度をより高めることができる。

対応

保育園職員向け研修

〈日程〉令和 2 年 9 月 10 日（木）、令和 3 年 11 月 5 日（金）

〈概要〉ユニバーサルデザインの基本に加え、行動観察から得られた子どもたちに特有の行為を取りまとめた「こども OS ランゲージ[※]」を活用して、自らの接遇などを見つめ直すほか、ユニバーサルデザインを実践する契機となる研修。

[※]自分の意志で行動できるようになるおおよそ 2 歳から 12 歳までの子どもたちが持つ自由で豊かな感受性や創造力・直観力から引き出される、子どもたちに特有の思考や行為をキッズデザイン協議会が取りまとめたもの。



実績

〈参加者数〉令和 2 年度 46 名 ※全 36 園より 1～2 名参加
令和 3 年度 60 名 ※全 36 園より 1～2 名参加

(2) 障がい者・高齢者・子育て世代等多様な人への配慮について

分析結果

職務において、多様な人に対する配慮を充実させるには、「一般職」、「10代・20代」、「認知していない人」に対する働きかけが課題となる。

対応

「10代・20代」:

令和2年度から、新規採用職員研修にて、職員向け情報誌「UDニュース」を配付。

「一般職」「認知していない人」:

令和3年度から、UDニュースの内容をより具体的で身近な、実践を意図した内容に変更。

※なお、令和4年度からは、発行回数を増加して、隔月とした。

実績

〈UDニュースの発行回数および内容〉

年度	発行回数	内容
令和2年度	4回	新規採用職員向けに「ユニバーサルデザインとは何か？」をわかりやすく説明するもの等。
令和3年度	3回	車いす使用者・ベビーカー利用者も見やすい展示レイアウトや、高齢者にも見やすいパネルの文字ほか、UD展において実施したUDへの配慮事項等、より身近で実践的な内容を意識して発行。
令和4年度	6回 (予定)	「授乳時のプライバシー」「男性保護者も利用しやすい」「子どもを見守りやすい」等、様々な人への配慮事項を両立させている子ども動物園のトイレの事例や保育園でのUD教育事例等。

(3) ユニバーサルデザインガイドラインの活用について

分析結果

UDガイドラインについては、事業などの配慮に関する項を周知し充実させていく必要がある。

対応

新型コロナワクチン接種会場従事者へのガイドラインの配付および研修

〈日程〉令和3年5月12日(水)

〈概要〉新型コロナワクチン接種会場に従事する委託事業者向けの説明会において、UDガイドラインにまとめている、多様な人への配慮の必要性や心構え、困りごとやその対応策などを説明した。また、区の従事職員向けに、各会場にガイドラインを配付した。

実績

〈参加者数〉午前25名、午後15名 計40名